

## 平成 27 年度に徳島市が実施した主な地球温暖化対策

### 1 家庭部門の対策

取り組み名	内 容
環境家計簿の普及	○市民生活に省エネが定着することを目的に、家庭から排出される二酸化炭素量を計算できる環境家計簿の普及に取り組んでおり、環境家計簿の機能が付いた「エコライフカレンダー2016」を配布した。
親子環境体験週間の開催	○太陽光発電などの再生可能エネルギーや温暖化対策を推進することを目的に、地球温暖化に関する学習会やソーラーミニチュアカーの組み立てなどを行う「親子環境体験週間」を開催した。
家庭の省エネ診断の実施	○専門の相談員（うちエコ診断士）が市民を対象に家庭の省エネ診断を実施し、今すぐできる省エネのアドバイスなどを行った。平成 27 年度は市内の大学生を対象に実施した。
環境学習活動	○職員や環境ボランティアが講師となり、地域や学校等で環境講座を行う出前環境教室を開催した。平成 27 年度は身近な省エネやフードマイレージ等をテーマに開催し、1,127 人の参加があった。
普及啓発	○広報とくしまや広報テレビ番組「マイシティとくしま」、パネル展等を通じて、暮らしの中で取り組むことができる温暖化対策について、市民に協力を呼びかけた。 ○職員が率先的な取り組みが実践できるよう、庁内の通知等を通じて積極的な情報提供を行った。

### 2 産業・業務部門の対策

取り組み名	内 容
環境マネジメントシステムの導入支援	○事業者对环境に配慮した事業活動に積極的に取り組んでもらうため、国内版の環境マネジメントシステムであるエコアクション 21 の普及を行った。また、事業所における環境活動推進のための手順と取組を紹介した「事業所の環境活動推進ガイドブック」を配布した。
地産地消の推進	○地元食材を使ったメニューを商品化した「とくしま IPPIN 店」の拡大を図るため PR 活動を実施した。 ○徳島市内産の農林水産物の利用拡大を推進し、ブランド育成及び地産地消の推進を図るため、「とくしま食材フェア 2015」を開催した。 ○水産資源の維持及び培養を図るため、稚魚や稚貝の放流を実施した。

市の率先実行	<p>○市の率先実行計画である「徳島市エコオフィスプラン」に基づき、事務事業からの温室効果ガス削減に取り組んでおり、平成 27 年度は平成 21 年度比で 3,026 トン (9.1%) 削減した。</p> <p>○継続的な環境保全活動を実施するため、全庁を対象とする徳島市独自の環境マネジメントシステム「とくしまエコマネジメントシステム」の運用を行った。</p> <p>○第十浄水場に太陽光発電を設置したほか、沖洲小学校、加茂・佐古・応神の各コミュニティセンターには太陽光発電と蓄電池を組み合わせたシステムを設置した。また、空調機（葬斎場）、LED照明（沖洲小学校）など、更新等にあわせて省エネルギー型機器の導入を行った。</p>
--------	--

### 3 運輸部門の対策

取り組み名	内 容
自転車や公共交通機関の利用促進	<p>○徳島市地域公共交通総合連携計画に基づき、バスの利便性の向上を図るために、市バス路線の移行・再編や運行形態の見直しを図った。平成 27 年度は移行路線（中央循環線・南部循環線、山城線）の実証運行を開始するとともに、平成 28 年度移行予定路線（市原・島田石橋線）の運行計画案を作成したほか、利用実態調査を実施した。</p> <p>○地域住民の生活に必要なバス路線の維持確保のため、要件を満たす生活バス路線を対象に補助金を交付した。</p> <p>○国土交通省や県などと構成する徳島地区渋滞対策推進協議会を通じて、パークアンドライドを実施したほか、公共交通利用促進キャンペーンを実施し、公共交通利用促進の広報啓発を行った。</p> <p>○バス利用促進のための環境設備として、上屋 1 基、ソーラー照明付標識 1 基を設置、ベンチ 1 基、上屋 1 基を更新した。</p> <p>○毎月 10、20、30 日をノーマイカーデーと定め、職員の通勤時におけるマイカー使用の自粛を呼びかけた。</p>

### 4 廃棄物部門の対策

取り組み名	内 容
汚泥の再資源化	<p>○下水道終末処理場で発生する汚泥の減量・再資源化を図るため、セメント原料へのリサイクルを行った。(汚泥セメントの原料化率 中央浄化センター：72.99%、北部浄化センター：75.08%)</p>

<p>ごみ減量化の推進</p>	<p>○広報紙や地域の懇談会の開催等を通じて、一般廃棄物の適正排出の指導や減量・再資源化への協力を呼びかけた。</p> <p>○人や環境に配慮した商品を提供・販売する企業、店舗をエコショップとして登録し、環境配慮型商品の購入・使用を促進した。平成 27 年度は、徳島市内の 119 店舗が登録されている。</p> <p>○生ごみの排出削減を図るために、電気式生ごみ処理機やコンポスターの購入費の補助を行うとともに、生ごみを堆肥化する EM 処理容器の交付を行った。また、事業所等から排出される生ごみの排出削減を図るため、事業所用大型生ごみ処理機の購入補助を行った。</p> <p>○多様な資源物の回収ルートを確保するとともに、市民の利便性向上を図るため、常設の資源物回収施設として「徳島市エコステーション」を開設した。（回収量：114,301.4kg 利用人数：10,923 人）</p>
<p>建設リサイクル法の推進</p>	<p>○「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」の対象工事について、現地パトロールを実施するなど、分別解体の指導を行った。平成 27 年度は法律に基づき解体、新築・増築など延べ 544 件の届出があった。</p>

## 5 社会資本の整備における対策

取り組み名	内 容
<p>再エネ設備の導入推進</p>	<p>○住宅用太陽光発電の設置に対し、1 件につき 5 万円の補助を行い、合計 594.38kW（109 件）が整備された。</p>
<p>LED（発光ダイオード）の活用</p>	<p>○夜間の通行の安全性向上、省エネルギーの推進のため、LED 防犯灯設置（新設）に対する助成を 120 灯実施した。また、町内会等が維持管理する防犯灯 7,195 灯を蛍光灯から LED 灯に交換した。</p>

## 6 温室効果ガスの吸収源対策

取り組み名	内 容
<p>緑化の推進</p>	<p>○緑化イベントの開催や花苗等の配布により市民の緑化啓発に努めたほか、街路や公園等に植栽した。また、平成 27 年度は、間伐・下刈等（7.00ha）により市有林の維持管理（維持管理面積 143.05ha）を行い、森林や緑地の保全に努めた。</p>